

和歌山病院での実習を終えて



恩地 菊乃

今回、第3内科のポリクリの一環として和歌山病院で2日間実習させて頂きました。

主に結核についての勉強を行うための実習で、教科書でしか見たこと無い結核治療の実際に触れることが出来ました。特に N95 マスクを付けて結核病棟を見学するという経験は大学での実習ではなかなか出来ないことなので非常に興味深く印象に残るものでした。2日間を通して結核についての講義を集中的に受けたのですが、特に1日目の南方先生による X線読影方法についての講義は、目から鱗が落ちるような非常に系統立って分かりやすいものでした。今まで何となく苦手意識を持っていた X線読影の、何が苦手と思わせるかに気づかせて頂き、またそれを乗り越えるためのメソッドを丁寧に教えていただきました。今回教えて頂いたことを踏まえて、これからは苦手意識を持たず実践していきたいと思います。

そして夜には南方先生にご飯に連れて行って頂き、様々なお話を伺うことが出来ました。どんなことでもざっくばらんにお話してくださり、勉強になると同時に非常に楽しい時間を過ごさせて頂きました。

この2日間で学んだこと、楽しかったことをしっかりと胸に刻んで残りの実習を悔いのない有意義なものにしたいと思います。

最後にはなりましたが、南方先生をはじめとした和歌山病院の先生方、職員の方々、このような素晴らしい機会を作って頂き、深く御礼申し上げます。ありがとうございました。